

平成 23 年 2 月 9 日に開催した平成 22 年度第 8 回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は、次のとおりである。

1 報告事項

- (1) 自己点検評価に対する（独）大学評価・学位授与機構の認証評価（案）について
本学が 21 年度に実施した自己点検評価に対して、大学評価基準等を満たしているとの認証評価結果（案）の通知があったこと、評価はおおむね良好であったことが報告された。
- (2) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定について
次世代育成支援対策推進法の規定により策定する、一般事業主行動計画案及び今後のスケジュールが説明された。
- (3) 2010 年度学生生活調査の実施結果概要について
本年 4 月に実施した学生生活調査結果の概要が報告された。
その中で、「教育の場としての充実度」について約 89%が「充実している」と、現在には満足している一方で、「学生生活での不安・悩み」について約 85%が「進路・就職等」と回答するなど、将来の不安が大きいことが分かった。また、必要な対応については、23 年度の予算等に反映することも併せて報告された。
- (4) 平成 23 年度一般選抜（前期日程・後期日程）出願状況について
一般選抜の志願状況が確定し、志願倍率は両学部を合わせて前期日程が 7.32、後期日程が 24.61 と高い倍率となったこと、前年度と比較すると他県からの志願者が増加したこと、推薦入試を含めると一県を除く全国から志願者があったことなどが報告された。
- (5) 平成 22 年度卒業予定者の就職内定状況について
現 4 年生の就職内定状況について、2 月 4 日時点での内定率が 74.8%で、対前年度 1.2 ポイント減、対前々年度 13.4 ポイント減と厳しい状況であるが、これから卒論や卒業制作の提出を終えた学生が就職活動を再開することから、もう少し伸びる可能性のあることが報告された。

2 協議事項

平成 23 年度公立大学法人静岡文化芸術大学年度計画案の概要について

ア 趣旨

事務局から年度計画の素案について説明をし、意見を聴取した。

イ 主な意見

- 22年度の年度計画は年度途中からの作成だったが、23年度からは実施に入っていくので、より重要である。
- 多角的な視点から作られており概ね良いが、学内組織が多くなりすぎないようにする必要があり、同時に、計画実施の対応に追われ、大学本来の業務である教育研究に支障をきたさないようにする必要がある。
- 今後、下宿生が多くなることが想定されるので、地域社会との連携及び市民との交流を大事にしていきたい。